

貴自治体名 蟹江町

2011年自治体キャラバン請願・陳情項目についてのアンケート

【1】1. 地域主権改革

①「義務付け・枠付けの見直し」についての対応について

- () 県の条例化を待たずに検討する () 県が条例化してから検討する
 (O) その他(県の条例制定の状況も考慮しつつ、町としても条例化に向けて検討する)

②「義務付け・枠付け」(最低基準)について、国基準とは異なる独自基準がありますか。

- (O) ない () ある → 何に関しての基準か()

③独自基準を持っている場合、今後その扱いはどうしますか。

- () 現行の基準は引き下げないようにする () 県の条例(政省令)を基準に考える
 () その他()

2. 行政サービス制限条例

①税の滞納等を理由とした行政サービスを制限する規定がありますか。

- () ある () 検討中である (O) ない

②制限する規定がある場合、何で定めていますか。

- () 条例で定めている () 要綱で定めている () その他()

【2】1. 介護保険及び高齢者福祉施策

①介護保険料の市町村独自の減免措置がありますか。

- () ない (O) ある → 実施年月(15 年 4 月) 2010年度実績(452)件(4,224,850)円

②利用料の市町村独自の減免措置がありますか。

- (O) ない () ある → 実施年月()年()月) 2010年度実績()件()円

③特別養護老人ホームの待機者は、何人ですか。 (214)人(平成23年8月現在)

④介護給付費準備基金について

2009年度末の残高(67,480,114)円

2010年度末の残高(37,914,961)円 ※決算前の場合は見込み額を記入

⑤地域包括支援センターについておたずねします。

1)直営()カ所、委託(2)カ所、委託の場合の1カ所当たりの委託費(14,000,000)円

2)センター1カ所当たりの人口(平均18,760)人・同65歳以上の高齢者人口(平均3,750)人

3)市町村立の中学校の数(2)校

着型サービスの2009年度計画、2009年度実績、2010年度計画をご記入ください。

⑥住宅改修の受領委任払い制度を実施していますか。

() 実施している → 実施年月日()年()月()日 2009年度実績()件

() 検討中である (O) 実施の予定がない

⑦福祉用具の受領委任払い制度を実施していますか。

() 実施している → 実施年月日()年()月()日 2009年度実績()件

() 検討中である (O) 実施の予定がない

⑧配食サービスについて、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

配食方式	実施の有無	(O)実施している ()していない ()検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	週1回 昼
	1日平均利用者数(2010年度)	総延べ食事数(1,797)食÷年間配食日数(51)日=1日当たり平均(35)食
	1食あたりの助成額	200円
	1食あたりの利用者負担額	300円

会 食 方 式	実施の有無	(○)実施している ()していない ()検討中である
	実施回数(週○回昼・夕などと記入)	12回(月1回 昼)
	月平均利用者実数(2009年度)	52人
	1食あたりの助成額	無
	1食あたりの利用者負担額	200円

⑨独居・高齢者世帯へのゴミ出し援助について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

実施の有無	()実施している (○)していない ()検討中である
対象事業の名称	
対象者の要件	
1カ月平均利用者実数(2009年度)	

⑩住宅改修の独自の助成制度について、該当項目に○印を付し、必要事項をご記入ください。

助成制度の有無	()助成制度がある (○)助成制度はない ()検討中である	
制 度 内 容	()介護保険に上乘せして実施している	
	上乘せの助成額	
	利用者実数(2009年度)	
	()介護保険利用者以外の助成制度がある	
	対象者と、その要件	
	助成額	利用者実数(2009年度)

⑪ひとり暮らし、高齢ふたり世帯などへの安否確認、見守り、買い物などの生活支援の施策を実施していますか。ある場合は、支援内容をご記入ください。また、住民登録されているが所在がわからないいわゆる「不明の高齢者」の実態についてもご記入ください。

友愛訪問や福祉電話等による安否確認を行っています。
所在が分からない場合があります。

⑫高齢者や障害者に、外出支援のための施策についてお尋ねします。

1)巡回バス・福祉バスを実施していますか。

(○)実施している

→ 利用料:町内外在住在勤関係なく無料

()実施していない

2)タクシー代を助成する制度がありますか。ある場合は、助成内容をご記入ください。

身体障害者手帳1～3級または療育手帳A・B判定を所持している方に、基本料金及び迎者回送料金を助成する。
交付枚数は、年間36枚です。

⑬宅老所・街角サロンなど的高齢者のたまり場事業に助成金を出していますか。(社会福祉協議会の助成は含めないでください)

()助成している → 1施設当たり助成額 月額()円 または 年額()円
または 1回限り()円

→ 助成カ所数()カ所

()検討中である (○)助成の予定がない

⑭介護認定者の障害者控除の認定について

1)認定書の発行枚数(2009年度実績)は (41)枚

2)介護認定者に障害者控除の申請書または認定書を送付していますか。

()申請書を送付している → 2009年度()件

()認定書を送付している → 2009年度()件

(○)送付していない。

3) 認定書の発行の条件

() 介護認定者のうち、要支援2以上は基本的に発行している

() 介護認定者のうち、要介護1以上は基本的に発行している

() 医師の証明書(意見書)の提出の上、判断している

() 介護認定時の認定調査票または主治医の意見書で判断している

(○) 次のような方法で判断している(認定者の介護認定時の主治医意見書で判断)

⑮ 要支援の介護認定者への、障害福祉サービスの上乗せについて

() 実施している (○) 実施していない

2. 高齢者医療など

① 後期高齢者福祉医療費給付(福祉給付金)制度について、愛知県が補助基準から外した「ひとり暮らしの非課税者」を引き続き対象にしていますか。

() 対象にしている () 縮小して対象にしている (○) 県基準どおりにした

② 上記①以外に愛知県の補助基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。

Empty box for additional information regarding the elderly medical support.

③ 2011年8月1日現在の対象者

後期高齢者医療受給者 (3,378)人

福祉給付金対象者 (505)人

内 { ひとり暮らし非課税者()人

{ その他の県基準を上回る市町村独自対象者()人

3. 子育て支援策 ※2011年9月1日現在をご記入ください。

① 子どもの医療費助成制度を、愛知県の基準を上回る内容を実施している場合はその内容をご記入ください。(対象年齢、対象者、入院・入院外の区分、現物給付・償還払の区分、所得制限など)

小学校卒業年度末までの子ども、入院外、現物給付、所得制限なし

Empty box for additional information regarding child medical support.

② 就学援助

1) 保護者への広報はどのようにしていますか。

学校では (○) 入学説明会 () 入学式 () 始業式 (○) ホームページ

2) 就学援助の認定対象基準をご記入ください。

生活保護基準額の(1.1)倍

そのほか

Empty box for additional information regarding school support criteria.

3) 就学援助の対象となる認定基準額または所得基準額をご記入ください。

・2人家族(母30歳代、子ども小学生の場合) … (2,450,228)円

・4人家族(父母は30歳代、子ども小学生と4歳児の場合) … (3,080,359)円

4) 申請書の受付先 (○)市町村窓口 () 学校 () 市町村窓口と学校のどちらも可

5) 民生委員の証明は必要ですか。 () 必要である (○) 必要ない

6) 就学援助受給者数・予算額をご記入ください。

	2010年度	2011年度
受給者数	284人	333人
受給割合	9.3%	11.1%
支給額	17,924,308 円	22,497,300 円

※受給割合は、小数点第1位までご記入ください。

※2010年度の支給額は見込み額をご記入ください。

7) 支給項目を書き出してください。

学用品費、通学用品費、校外活動費(泊無し)、給食費、修学旅行費、新入学児童生徒学用品購入費

③学校給食について(2011年度)

	全校数	自校方式 実施数		センター方式 実施数		1食当たりの 給食費
		割合	割合	割合	割合	
小学校	5校	校	%	5校	100%	230円
中学校	2校	校	%	2校	100%	270円

4. 国民健康保険

①国保保険料(税)(医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計)について

	区分	定義	2009年度	2010年度	2011年度
保険料・税率	所得割	(基礎課税)額	×(5.9)%	×(5.9)%	×(5.9)%
	資産割	固定資産税額	×(50)%	×(50)%	×(50)%
	均等割	加入者1人につき	23,000円	23,000円	23,000円
	平等割	1世帯につき	25,000円	25,000円	25,000円
1人当たり調定額(平均保険料)			88,956円	83,716円	82,156円
一般会計からの1人当たり法定外繰入額			4,766円	2,868円	4,811円

※2011年度の「一般会計からの1人当たり法定外繰入額」は、予算額をご記入ください。

②保険料(税)の市町村独自の軽減・減免制度

1) 市町村独自の低所得者減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

地方税法第703条の5並びに蟹江町国民健康保険税条例第24条により、7割、5割、2割の減額

2) 保険料(税)の収入減を理由にした減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

世帯主及び世帯に属する被保険者が失業または、その事業を廃止し、若しくは休止したことなどの事業により生活が困難となった場合であって当該年の所得見込額が前年の総所得金額の1/2以下に減少すると認められるとき

③資格証明書 ※2011年8月1日現在でご記入ください。

1) 資格証明書は発行していますか。(○)発行していない ()発行している→()世帯

2) 資格証明書を発行している場合、発行に当たっては、面接を実施していますか。

()必ず面談している ()面談がなくても交付する場合がある ()その他

3) 資格証明書発行世帯のうち、高校生世代以下の子どもについて

資格証明書発行世帯のうち、高校生世代以下の子どもがいる世帯数・子ども数

世帯数()世帯 内、乳幼児()人、小学生()人、中学生()人、高校生世代()人

上記のうち、6か月以上の短期保険証を交付していない資格証明書未解消世帯数・子ども数

世帯数()世帯 内、乳幼児()人、小学生()人、中学生()人、高校生世代()人

4) 資格証明書の発行除外で配慮している点がありますか。

()国の基準どおり実施している

()独自に配慮し、次の場合は交付対象から除外している

()高校生世代以下の子どもがいる世帯

()障害者・母子家庭等医療費助成制度の対象世帯

()病弱者のいる世帯

()次の場合は、交付対象から除外している。

④短期保険証 ※2011年8月1日現在でご記入ください。

- 1)有効期間(交付時から有効期限が切れるまで)別の交付数
・1か月以内()人 ・2か月()人 ・3か月(512)人 ・4か月()人
・5か月()人 ・6か月(417)人 ・1年()人
・その他()

2)短期保険証発行の基準をご記入ください。

1年以上未納のある世帯

3)短期保険証について、有効期限以外に特別な表示をしていますか。

- (○)通常の保険証と同じ
()通常の保険証と区分している →表記している文字・マークなど()

⑤保険料(税)滞納者への差押えについて(2010年度)

- 1)予告催告書の発行(148)件
2)差押え件数 不動産(23)件 預貯金(36)件 生命保険(35)件(内学資保険(0)件)
その他(3)件()
3)競売などによる現金化(54)件 (8, 174, 935)円

⑥国保加入者だが、保険証・短期保険証・資格証明書が届いていない人数をご記入ください。

- 1)交付した保険証・短期保険証の留め置き人数は 2011年(9)月(13)日現在 (480)件
2)保険証・短期保険証・資格証明書のいずれも交付していない未交付人数
2011年(9)月(13)日現在 (0)件

3)その他

⑦国民健康保険法第44条の一部負担減免制度について

- 1)一部負担減免制度を実施していますか。
(○)実施している ()検討中である ()実施の予定がない
2)ある場合、生活保護基準を目安にした減免基準を設けていますか。
(○)設けている ()検討中である ()設けていない
3)2010年度の減免件数 (0)件 減免金額 (0)円

5. 障がい者施策

①地域生活支援事業(移動支援・地域活動支援センター等)の低所得者への負担軽減について

- 1)利用料負担上限月額の設定 ()あり (○)なし
2)市町村民税非課税世帯の利用料の減免 ()あり (○)なし

1)、2)で「あり」の場合の具体的な内容

②地域生活支援事業の移動支援の利用者数・最多支給時間数・平均支給時間数

- 1)利用者数(39)人 2)最多支給時間数(85)時間 3)平均支給時間数(19)時間

③第3期障害者福祉計画の策定にあたり、自立支援協議会の意見を聞くことが望ましいとされているが

- 1)自立支援協議会は (○)ある ()ない
2)意見を聞く機会を ()設ける (○)設けることが困難

6. 健診事業 ※2011年度の実施状況をご記入ください。

①実施方式・各方式での自己負担金と毎年受診の可否

健診(検診)の種類	実施方式	個別医療機関委託		集団健診(検診)	
		自己負担	実施期間	自己負担	実施回数
特定健診	個別・集団	70歳未満 1,000円	6月～9月	同左	4
がん検診	胃がん	40～69歳 2,700円	6月～9月	18～39歳 2,600円	12
		70～ 1,400円		40～69歳 1,300円 70～ 600円	
	大腸がん	40～69歳 700円	6月～9月	18～39歳 600円	16
		70～ 400円		40～69歳 500円 70～ 200円	
	肺がん(X線検査)	40～69歳 1,100円	6月～9月	16～69歳 600円	12
		70～ 600円		70～ 300円	
	子宮がん (頸部細胸 診検査)	20～69歳 1,100円	6月～9月	20～69歳 1,100円	8
70～ 600円		70～ 500円			
乳がん	超音波	30～69歳 1,300円	6月～9月		
	マンモ グラフィ ー	40～69歳 1,500円		40～69歳 1,500円	8
前立腺がん	個別・集団	50～69歳 1,000円	6月～9月	50～69歳 1,000円	
		70～ 500円		70～ 500円	
歯周疾患	個別・集団	0円	6月～9月	500円	3

②40歳未満の住民を対象にした健康診査について

(○)実施している → 健診内容 (○)特定健診と同じ ()特定健診とは異なる
()実施していない

③歯周疾患検診の対象年齢・回数

(○)節目年齢に限定せず毎年受けられる ()40・50・60・70歳の年に受けられる
(○)その他(40歳～60歳の節目年齢(5歳ごと)には、クーポン発行 及び妊婦全員)

7. 任意予防接種の助成 ※助成を実施または予定している自治体のみご記入ください

ワクチンの種類	助成開始または 開始予定年月日	対象	助成額
ヒブワクチン	H23年1月	2歳～5歳未満	1回 2,500円
小児用肺炎球菌ワクチン	H23年1月	2歳～5歳未満	1回 3,000円
成人用肺炎球菌ワクチン			
子宮頸がんワクチン	平成22年10月	中学1年～高校1年 (今年度のみ高校2年)	1回 5,000円
みずぼうそうワクチン			
おたふくかぜワクチン			

